

電気メーカー D社様

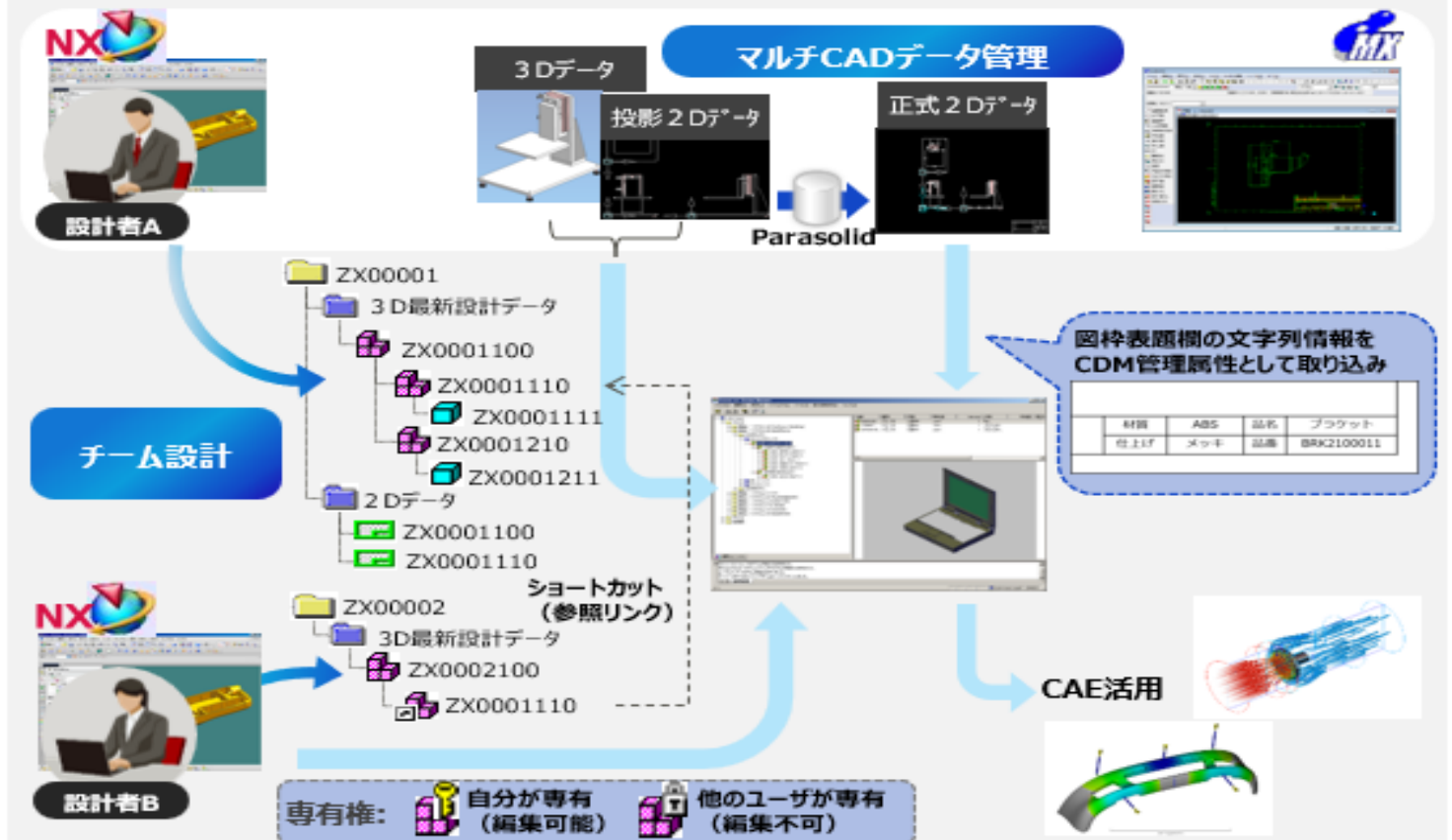


リモートワークによる利便性と性能の向上

当初の課題	3Dと正式出図する2Dは別のCAD、別々にフォルダ管理するしかない	CDMにより課題を解決	▶ CDMで複数のCADを管理、同じ品番フォルダの下で異なるCADデータを管理
	データの共有がうまくいかない、類似機種はほぼ同時並行で設計を進める		▶ 同時並行の開発であっても、排他制御と最新のデータ共有にてチーム設計を実現
	CADルームに場所をとられる、会議の場合は大きいワークステーションを運んでいる		▶ いつでもどこでもCDMとCADが利用できるリモートワーク環境を実現

■ 当初の課題

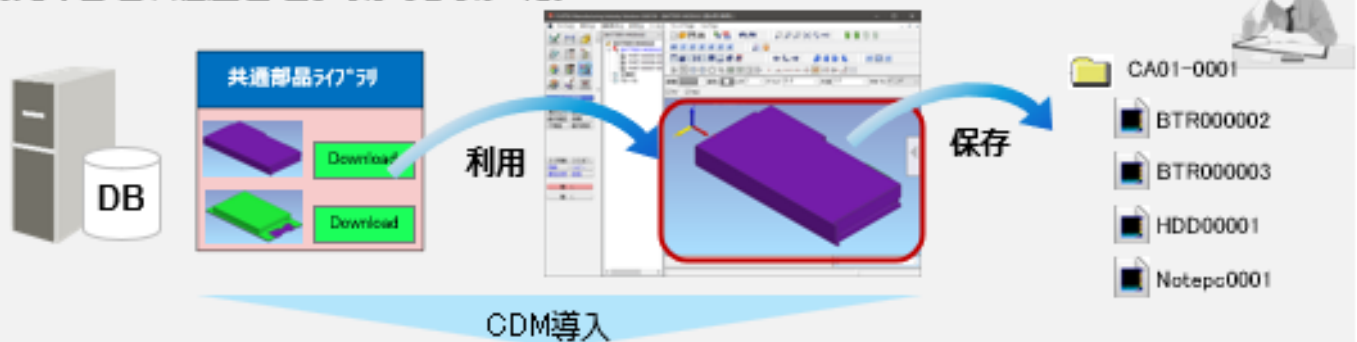
- ・マルチCADデータ管理により、3D、2Dで異なる2つのCADデータを管理
- ・類似機種はブロックや部品を共有し、専有権による排他制御によりチーム設計を実施



電気メーカー C社様

■ CDMにより課題を解決

部品DBを作り部品の共通化に取り組んだが、利用先のCADデータはフォルダ管理であり、利用先の管理や履歴管理まではできなかった。



CDM導入により参照リンクまでを管理することができるようになり、さらに部品共通化が進み、どこで使われているかも分かるようになった。

部品共通化
の推進



富士通株式会社

COLMINA CADデータ管理サポートセンター contact-cdm-support@cs.jp.fujitsu.com

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）